

万博契機で、どこまで企業は変われるか？

日本の適正人口については、いくつかの研究や議論がありますが、一般的には約1億人が適正人口とされています。これは、日本のインフラや資源、経済のバランスを考慮した上での推定です。そして、その適正人口1億人になるのは2055年前後と予測されています。30年後の未来です。都市と地方の再編、農業、畜産の在り方についての再構築に手をつける時期に来ています。その時には、在留外国人と日本人との共生が必要不可欠になっていると考えられます。

外国人にとって日本は住みやすいのか？これまで私が出会った外国人労働者の方々は安全、正確な公共交通機関、安定した物価など生活環境はポジティブに捉えていらっしゃいました。他方、労働環境はと言語の壁によるコミュニケーションの障害、自国の文化やビジネススタイルの違いによる日本の企業文化や習慣とのずれ、外国人であることによるキャリアアップの天井など、多くの外国人労働者は、日本企業の受け入れや支援が不十分だと感じています。「暮らしやすくて働きづらい」こう考えている方々が多くいるのが現実です。外国人材にとって「暮らしやすくて働きやすい」そんな環境をつくる企業が今後生き残れると確信しています。

万博で世界中の人と日本の外食産業界が交わることで、そういったことが実現できるきっかけになればと切に願います。

浜田化学株式会社

(ORA 賛助会員社)

代表取締役社長 岡野嘉市

(ORA 外国人雇用推進部門会 業務委員)

.....
廃食油リサイクル中心に衛生管理、
SDGs サポートなどの
食品産業ソリューションを全国で展開しています。

